

独自要求に向け北信各県の情報共有



6月3日（土）に、石川県加賀市 ホテルアローレにおいて北信地連県職現業代表者会議が開催されました。

これは、昨年度一年間の県職現業の取組みの結果と本年度の現業統一闘争に向けた取組みを発表する会議です。全国幹事会報告・県職現業部会報告の後、北信4県（長野・富山・石川・福井）の情勢と活動状況を情報交換しました。

全国幹事会からは現業政策集会の日程や役員人事の報告があり、県職現業部会からは①国土交通省要請事項について、②県職部会について、③全国県職現業代表者会議（2月）の報告がありました。

北信地連県職現業 各県の秋闘結果と課題

長野県 農政部及び学校職場に導入された新たな雇用（特別行政嘱託員）について問題が生じており、担当部局と話し合いを行った。建設部の問題についても話し合いを求めている。本年度で現業創立から70年であり記念事業を計画している。

富山県 第7回任用替試験において、受験対象者25名中10名受験で8名合格。2014定員管理計画（5年間5%削減）により道路維持管理業務の民間委託化が土木部内で検討され、45名のうち34名が削減され、11名は道路パトロール要員で継続配備。再任用後の雇用もあり。

福井県 行政職へ転任した職員の行政1表5級に向けた昇任・昇格の確立。技能労務職員の行政2表4級への昇格運用の改善。転任試験で結果のでなかった職員の給与水準維持に向けた再試験の実施。行政パトロール（業務委託試行）は継続。

石川県 農業技術員について正規職員の採用を検討するとの回答を引き出し、4月から2名採用。その他の職種についても農業技術員同様、新規採用を前提に協議を継続。



富山県 竹内会長

各県の取り組みを参考にして更なる前進をめざします！！